



2019年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年2月5日

上場会社名 三井化学株式会社

上場取引所 東

コード番号 4183 URL <https://www.mitsuichem.com/jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 淡輪 敏

問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 小久江 晴子

TEL 03-6253-2100

四半期報告書提出予定日 2019年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2019年3月期第3四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	1,114,793	16.1	74,632	1.5	86,203	9.3	57,912	4.9
2018年3月期第3四半期	959,829	10.3	75,742	5.7	78,852	13.5	60,869	21.7

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 61,941百万円 (30.5%) 2018年3月期第3四半期 89,084百万円 (46.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	292.23	
2018年3月期第3四半期	304.24	

当社は、2017年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第3四半期	1,479,601	614,466	36.3
2018年3月期	1,431,309	587,222	35.7

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 537,526百万円 2018年3月期 511,586百万円

税効果会計基準改正の影響等により、2018年3月期の連結財政状態の各数値を組み替えております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		9.00		45.00	
2019年3月期		50.00			
2019年3月期(予想)				50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、2017年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。2018年3月期の1株当たり期末配当金については、当該株式併合後の金額を記載し、年間配当金合計は「-」として記載しております。

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,495,000	12.5	100,000	3.4	110,000	0.2	80,000	11.8	405.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

当社は、2019年1月31日を期日とする上限5,000,000株の自己株式取得を実施いたしました。この結果、2019年1月4日までに3,676,700株を取得し、同日までの取得をもって当該自己株式取得を終了しております。2019年3月期連結業績予想における1株当たり当期純利益は、当該取得自己株式数を期中平均株式数に反映し算出しております。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、【添付資料】9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(注)詳細は、【添付資料】9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2019年3月期3Q	204,510,215 株	2018年3月期	204,454,615 株
2019年3月期3Q	9,296,012 株	2018年3月期	5,766,674 株
2019年3月期3Q	198,172,081 株	2018年3月期3Q	200,070,115 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

(注)当社は、2017年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「期中平均株式数」を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、実際の業績等は、今後の様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提条件その他関連する事項については、【添付資料】4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

【添付資料の目次】

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(全般的状況)

当第3四半期連結累計期間(2018年4月1日～2018年12月31日の9ヶ月間。以下「当四半期」といいます。)における事業環境は、米国での景気回復が継続した一方、米国の通商政策、地政学的なリスク、原油価格の変動など、世界経済の変動に留意すべき状況が継続しました。日本においては、相次いだ自然災害の経済に与える影響に留意すべき状況があったものの、雇用・所得環境の改善や堅調な企業収益の継続により、緩やかな回復基調が継続しました。

このような情勢のもとで、当社グループの当四半期の業績は以下のとおりとなりました。

(単位：億円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益
当四半期	11,148	746	862	579
前年同四半期	9,598	757	789	609
増減額	1,550	△11	73	△30
増減率(%)	16.1	△1.5	9.3	△4.9

売上高は、前年同四半期に比べ1,550億円増(16.1%増)の1兆1,148億円となりました。これは、販売が堅調に推移したことに加え、ナフサなどの原燃料価格上昇に伴う販売価格上昇の影響等があったことによるものです。

営業利益は、前年同四半期に比べ11億円減(1.5%減)の746億円となりました。これは、販売が堅調に推移したものの、原料価格上昇や固定費の増加などがあったことによるものです。

経常利益は、前年同四半期に比べ73億円増(9.3%増)の862億円となりました。これは、持分法による投資利益が増加したことなどによるものです。

特別損益は、火災による損失が発生したことなどにより、52億円の損失となりました。

以上により、**税金等調整前四半期純利益**は、前年同四半期に比べ28億円減(3.4%減)の810億円となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同四半期に比べ30億円減(4.9%減)の579億円となり、1株当たり四半期純利益は292.23円となりました。

当四半期のセグメント別の状況は、次のとおりです。

(モビリティ)

当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ597億円増の2,945億円、売上高全体に占める割合は26%となりました。一方、営業利益は、販売数量が拡大しましたが、原料価格上昇及び固定費の増加により、前年同四半期に比べ14億円減の315億円となりました。以上により、セグメント全体では、増収・減益となりました。

自動車部品及び樹脂改質材用途を中心とする**エラストマー**は、堅調な需要に的確に対応しましたが、原料価格上昇の影響を受けました。

機能性コンパウンド製品は、主にアジア、欧州での堅調な需要に的確に対応しました。

ICT(情報通信技術)関連用途を中心とする**機能性ポリマー**は、販売が堅調に推移しました。

海外**ポリプロピレン・コンパウンド**事業は、アジアを中心とした自動車生産台数の増加に的確に対応しました。

2018年1月に株式会社アーク及びその企業グループを連結子会社とし、これらの会社の売上高、利益等を「ソリューション事業」として、連結しております。

(ヘルスケア)

当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ63億円増の1,097億円、売上高全体に占める割合は10%となりました。また、営業利益は、原料価格上昇の影響があったものの、総じて堅調な販売により、前年同四半期に比べ18億円増の97億円となりました。以上により、セグメント全体では、増収・増益となりました。

ビジョンケア材料のメガネレンズ用材料は、販売が堅調に推移しました。

不織布は、高機能品の販売は安定的に推移しましたが、日本からの紙おむつ輸出減少の影響を受けました。

歯科材料は、販売が安定的に推移しました。

(フード&パッケージング)

当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ19億円増の1,465億円、売上高全体に占める割合は13%となりました。一方、営業利益は、販売は総じて堅調に推移しましたが、原料価格上昇及び固定費の増加により、前年同四半期に比べ27億円減の118億円となりました。以上により、セグメント全体では、増収・減益となりました。

コーティング・機能材は、販売が堅調に推移しましたが、原料価格上昇等の影響を受けました。

機能性フィルム・シートは、総じて堅調な販売となりましたが、原料価格上昇等の影響を受けました。

農薬は、販売が堅調に推移しました。

(基盤素材)

当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ867億円増の5,457億円、売上高全体に占める割合は49%となりました。また、営業利益は、堅調な国内需要の影響及び市況の上昇により、前年同四半期に比べ10億円増の275億円となりました。以上により、セグメント全体では、増収・増益となりました。

ナフサクラッカーの稼働率は、大阪工場用役プラント火災の影響により前年同四半期に比べ低下したものの、概ね高水準で推移しました。また、**ポリエチレン**及び**ポリプロピレン**は、国内需要を背景に販売が堅調に推移しました。

フェノールは、前年同四半期を上回る水準で海外市況は推移し、需要も堅調に推移しました。

(その他)

当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ4億円増の184億円、売上高全体に占める割合は2%となりました。また、営業損失は、前年同四半期に比べ9億円増の16億円の損失となりました。

(2) 財政状態に関する説明**(資産、負債、純資産の状況)**

当四半期末の**総資産**は、前期末に比べ483億円増の1兆4,796億円となりました。

当四半期末の**負債**は、前期末に比べ210億円増の8,651億円となりました。また、**有利子負債**は139億円増の4,776億円となりました。この結果、総資産に対する有利子負債の比率は前期末に比べ0.1ポイント減の32.3%となりました。

当四半期末の**純資産**は、前期末に比べ273億円増の6,145億円となり、**自己資本比率**は前期末に比べ0.6ポイント増の36.3%となりました。

以上により、当期末の**ネットD/Eレシオ(ネット有利子負債(有利子負債一現預金・長期性預金)／自己資本)**は、前期末に比べ0.04ポイント減の0.71となりました。

なお、税効果会計基準改正の影響等により前期末の連結貸借対照表残高を組み替えており、組み替え後の数値で前期末比較を行っております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

(業績の見通し)

業績予想の修正にあたり、通期の為替レートは通期 111 円/\$ (1月～3月 110 円/\$)、国産ナフサ価格は通期 49,100 円/KL (1月～3月 40,000 円/KL) を前提としております。

通期の業績につきましては、ナフサなどの原燃料価格下落に伴う販売価格の改定等により、主として基盤素材セグメントにおいて売上高は減少する見込みです。また主として、交易条件の悪化などにより、基盤素材セグメントにおける営業利益及び経常利益は前回発表予想値から減少する見込みです。

(単位：億円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想(A)	15,400	1,060	1,170	800	402.56
今回修正予想(B)	14,950	1,000	1,100	800	405.28
増減額(B-A)	△450	△60	△70	0	
増減率(%)	△2.9	△5.7	△6.0	0	
(ご参考)前期実績 (2018年3月期)	13,285	1,035	1,102	716	358.38

※当社は、2019年1月31日を期日とする上限5,000,000株の自己株式取得を実施いたしました。この結果、2019年1月4日までに3,676,700株を取得し、同日までの取得をもって当該自己株式取得を終了しております。2019年3月期連結業績予想における1株当たり当期純利益は、当該取得自己株式数を期中平均株式数に反映し算出しております。

(セグメント別の見通し)

セグメント別の見通しは、以下のとおりであります。

(単位：億円)

	売上高						合計
	モビリティ	ヘルスケア	フード& パッケージ ジング	基盤素材	その他	全社 費用等	
前回発表予想	4,010	1,470	2,060	7,610	250	—	15,400
今回修正予想	3,960	1,470	2,030	7,240	250	—	14,950
増減額	△50	0	△30	△370	0	—	△450

(単位：億円)

	営業利益						合計
	モビリティ	ヘルスケア	フード& パッケージ ジング	基盤素材	その他	全社 費用等	
前回発表予想	425	130	215	370	△10	△70	1,060
今回修正予想	430	135	205	310	△20	△60	1,000
増減額	5	5	△10	△60	△10	10	△60

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	80,209	96,418
受取手形及び売掛金	306,899	304,089
たな卸資産	274,342	315,710
未収入金	60,356	61,712
その他	10,193	9,487
貸倒引当金	△673	△627
流動資産合計	731,326	786,789
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	343,555	350,481
減価償却累計額	△236,725	△240,986
建物及び構築物(純額)	106,830	109,495
機械装置及び運搬具	997,563	1,020,704
減価償却累計額	△865,884	△882,382
機械装置及び運搬具(純額)	131,679	138,322
土地	159,018	154,540
建設仮勘定	20,462	15,417
その他	76,136	77,451
減価償却累計額	△61,217	△63,190
その他(純額)	14,919	14,261
有形固定資産合計	432,908	432,035
無形固定資産		
のれん	5,684	5,207
その他	25,792	24,419
無形固定資産合計	31,476	29,626
投資その他の資産		
投資有価証券	159,428	152,322
退職給付に係る資産	41,549	43,863
繰延税金資産	10,673	11,685
その他	26,369	25,637
貸倒引当金	△2,420	△2,356
投資その他の資産合計	235,599	231,151
固定資産合計	699,983	692,812
資産合計	1,431,309	1,479,601

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	162,179	176,577
短期借入金	94,348	99,318
1年内返済予定の長期借入金	24,834	12,082
コマーシャル・ペーパー	20,000	20,000
1年内償還予定の社債	15,426	426
未払金	69,299	73,790
未払法人税等	7,956	7,175
役員賞与引当金	158	139
修繕引当金	13,585	10,473
その他	35,320	31,742
流動負債合計	443,105	431,722
固定負債		
社債	31,864	66,580
長期借入金	274,099	276,249
繰延税金負債	13,240	12,928
役員退職慰労引当金	250	237
修繕引当金	2,880	1,612
環境対策引当金	675	564
退職給付に係る負債	55,220	55,047
資産除去債務	4,330	4,454
その他	18,424	15,742
固定負債合計	400,982	433,413
負債合計	844,087	865,135
純資産の部		
株主資本		
資本金	125,125	125,205
資本剰余金	89,327	89,406
利益剰余金	291,000	330,000
自己株式	△19,842	△29,491
株主資本合計	485,610	515,120
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	26,558	20,804
繰延ヘッジ損益	△16	△6
為替換算調整勘定	5,037	5,736
退職給付に係る調整累計額	△5,603	△4,128
その他の包括利益累計額合計	25,976	22,406
非支配株主持分	75,636	76,940
純資産合計	587,222	614,466
負債純資産合計	1,431,309	1,479,601

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
売上高	959,829	1,114,793
売上原価	733,987	874,703
売上総利益	225,842	240,090
販売費及び一般管理費	150,100	165,458
営業利益	75,742	74,632
営業外収益		
受取利息	1,057	1,426
受取配当金	1,979	2,250
持分法による投資利益	4,632	11,009
為替差益	84	—
その他	2,142	3,960
営業外収益合計	9,894	18,645
営業外費用		
支払利息	4,110	4,190
為替差損	—	32
その他	2,674	2,852
営業外費用合計	6,784	7,074
経常利益	78,852	86,203
特別利益		
固定資産売却益	2,772	44
投資有価証券売却益	718	3,390
事業譲渡益	591	743
債務免除益	2,010	—
特別利益合計	6,091	4,177
特別損失		
固定資産処分損	1,091	2,037
固定資産売却損	7	41
減損損失	—	918
投資有価証券売却損	—	2
投資有価証券評価損	—	168
火災による損失	—	6,261
特別損失合計	1,098	9,427
税金等調整前四半期純利益	83,845	80,953
法人税等	14,726	15,399
四半期純利益	69,119	65,554
非支配株主に帰属する四半期純利益	8,250	7,642
親会社株主に帰属する四半期純利益	60,869	57,912

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益	69,119	65,554
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10,812	△6,215
繰延ヘッジ損益	0	6
為替換算調整勘定	6,712	2,304
退職給付に係る調整額	1,372	1,517
持分法適用会社に対する持分相当額	1,069	△1,225
その他の包括利益合計	19,965	△3,613
四半期包括利益	89,084	61,941
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	79,553	54,341
非支配株主に係る四半期包括利益	9,531	7,600

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項**(継続企業の前提に関する注記)**

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2018年11月1日開催の取締役会決議に基づく自己株式3,522,200株の取得などを実施いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が9,649百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が29,491百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)**(税金費用の計算)**

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)**(「税効果会計に係る会計基準の適用指針」の改正)**

「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 平成30年2月16日)が改正され、第1四半期連結会計期間の期首より適用しております。これに伴い、子会社株式等に係る将来加算一時差異について、予測可能な将来の期間に当該株式の売却等を行う意思がない場合を除き、繰延税金負債を計上する方法へ変更しております。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表は、長期繰延税金負債が618百万円減少、利益剰余金が462百万円増加、非支配株主持分が156百万円増加しております。

(追加情報)**(『税効果会計に係る会計基準』の一部改正』等の適用)**

『税効果会計に係る会計基準』の一部改正(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首より適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年12月31日)

①報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	モビリティ	ヘルスケア	フード& パッケージング	基盤素材	計		
売上高							
外部顧客への売上高	234,800	103,391	144,604	458,975	941,770	18,059	959,829
セグメント間の内部 売上高又は振替高	8,294	1,733	891	48,633	59,551	39,639	99,190
計	243,094	105,124	145,495	507,608	1,001,321	57,698	1,059,019
セグメント利益又は セグメント損失(△)	32,910	7,931	14,540	26,519	81,900	△745	81,155

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他関連事業等を含んでおります。

②報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	81,900
「その他」の区分の損失(△)	△745
セグメント間取引消去等	92
全社費用等(注)	△5,505
四半期連結損益計算書の営業利益	75,742

(注)全社費用等は、主に報告セグメントに帰属させることが適当でない一般管理費及び新事業に係る研究開発費等であります。

当第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

①報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	モビリティ	ヘルスケア	フード& パッケージング	基盤素材	計		
売上高							
外部顧客への売上高	294,496	109,741	146,472	545,709	1,096,418	18,375	1,114,793
セグメント間の内部 売上高又は振替高	8,587	2,061	940	58,677	70,265	42,794	113,059
計	303,083	111,802	147,412	604,386	1,166,683	61,169	1,227,852
セグメント利益又は セグメント損失(△)	31,475	9,679	11,762	27,559	80,475	△ 1,541	78,934

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他関連事業等を含んでおります。

②報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	80,475
「その他」の区分の損失(△)	△ 1,541
セグメント間取引消去等	△ 184
全社費用等(注)	△ 4,118
四半期連結損益計算書の営業利益	74,632

(注)全社費用等は、主に報告セグメントに帰属させることが適当でない一般管理費及び新事業に係る研究開発費等であります。

(参考)

2019年3月期 第3四半期連結決算概要

2019年2月5日
三井化学株式会社
(単位: 億円)

1. 損益状況

	2018年3月期 第3四半期	2019年3月期 第3四半期	増減	2018年 3月期実績	2019年3月期 業績予想 (2/5発表値)	
					通期	増減
売上高	9,598	11,148	1,550	13,285	14,950	1,665
営業利益	757	746	△ 11	1,035	1,000	△ 35
経常利益	789	862	73	1,102	1,100	△ 2
親会社株主に帰属する 当期純利益	609	579	△ 30	716	800	84
為替レート 円/US\$	112	111	△ 1	111	111	0
国産ナフサ価格 円/KL	39,900	52,100	12,200	41,900	49,100	7,200

2. セグメント別 売上高・営業利益
・売上高

(単位: 億円)

	2018年3月期 第3四半期	2019年3月期 第3四半期	増減			2018年 3月期実績	2019年3月期 業績予想 (2/5発表値)	
			計	数量差	価格差		通期	増減
モビリティ	2,348	2,945	597	459	138	3,310	3,960	650
ヘルスケア	1,034	1,097	63	52	11	1,391	1,470	79
フード&パッケージング	1,446	1,465	19	△ 16	35	1,958	2,030	72
基盤素材	4,590	5,457	867	144	723	6,377	7,240	863
その他	180	184	4	-	4	249	250	1
合計	9,598	11,148	1,550	639	911	13,285	14,950	1,665

・営業利益

(単位: 億円)

	2018年3月期 第3四半期	2019年3月期 第3四半期	増減				2018年 3月期実績	2019年3月期 業績予想 (2/5発表値)	
			計	数量差	交易条件	固定費他		通期	増減
モビリティ	329	315	△ 14	29	△ 19	△ 24	423	430	7
ヘルスケア	79	97	18	27	△ 12	3	108	135	27
フード&パッケージング	145	118	△ 27	0	△ 15	△ 12	199	205	6
基盤素材	265	275	10	0	71	△ 61	389	310	△ 79
その他	△ 7	△ 16	△ 9	-	-	△ 9	△ 9	△ 20	△ 11
全社費用等	△ 54	△ 43	11	-	-	11	△ 75	△ 60	15
合計	757	746	△ 11	56	25	△ 92	1,035	1,000	△ 35

3. 特別損益主要内訳

(単位: 億円)

	2018年3月期 第3四半期	2019年3月期 第3四半期	増減	2018年 3月期実績	2019年3月期 業績予想 (2/5発表値)	
					通期	増減
資産売却益	35	35	0	36	35	△ 1
事業譲渡益	6	7	1	6	7	1
債務免除益	20	-	△ 20	20	-	△ 20
固定資産処分・売却損	△ 11	△ 20	△ 9	△ 24	△ 25	△ 1
減損損失	-	△ 9	△ 9	△ 150	△ 9	141
投資有価証券評価損	-	△ 2	△ 2	△ 51	△ 2	49
火災による損失	-	△ 63	△ 63	-	△ 63	△ 63
その他	-	-	-	3	37	34
合計	50	△ 52	△ 102	△ 160	△ 20	140

4. 貸借対照表

(単位：億円)

	資産の部				負債及び純資産の部		
	2018/3末	2018/12末	増 減		2018/3末	2018/12末	増 減
流動資産	7,313	7,868	555	有利子負債	4,637	4,776	139
有形固定資産	4,329	4,320	△ 9	その他負債	3,804	3,875	71
無形固定資産	315	296	△ 19	自己資本	5,116	5,375	259
投資等	2,356	2,312	△ 44	非支配株主持分	756	770	14
資産計	14,313	14,796	483	負債純資産計	14,313	14,796	483
				(NET D/Eレオ)	(0.75)	(0.71)	(△ 0.04)

注：税効果会計基準改正の影響等により、2018年3月末の貸借対照表残高を組み替えております。

5. キャッシュ・フロー

(単位：億円)

	2018年3月期 第3四半期	2019年3月期 第3四半期	増 減	2018年 3月期実績	2019年3月期 業績予想 (2/5発表値)	
					通 期	増 減
営業キャッシュ・フロー	584	674	90	827	1,000	173
投資キャッシュ・フロー	△ 364	△ 322	42	△ 751	△ 750	1
(フリーキャッシュ・フロー)	(220)	(352)	(132)	(76)	(250)	174
財務キャッシュ・フロー	△ 418	△ 203	215	△ 102	△ 250	△ 148
その他	△ 2	1	3	△ 15	0	15
現預金等増減	△ 200	150	350	△ 41	0	41
現預金等残高	629	938	309	788		